

第4回 調布市産業振興プラン策定検討委員会 会議録

令和6年12月19日(木)

午後3時から5時まで

調布市役所5階 市長公室

傍聴者 0人

<出席委員>

八幡 一秀, 鎌田 裕美, 秋沢 淳雄, 大前 勝巳, 高木 克人, 戸嶋 容子,
長峰 美夫, 武口 彩佳

<欠席委員>

三浦 崇, 渡邊 智宏

<次第>

- 1 開会
- 2 今後のスケジュールについて
- 3 (仮称)調布市産業振興ビジョンの骨子(案)及び素案(案)について
- 4 事務連絡
- 5 閉会

<資料>

- 資料1 調布市産業振興ビジョン策定スケジュール
- 資料2 (仮称)調布市産業振興ビジョンの骨子(案)
- 資料3 (仮称)調布市産業振興ビジョンの素案(案)
- 資料4 骨子(案)及び素案(案)に係る意見交換結果一覧

<会議録>

1 開会

2 今後のスケジュールについて

事務局 資料1を説明。

八幡委員長 次回の会議が来年3月になる。議事を進めたい。

3 (仮称)調布市産業振興ビジョンの骨子(案)及び素案(案)について

事務局 資料2, 3, 4を説明。

八幡委員長 委員の皆様からいただいた貴重なご意見を踏まえた修正や市の回答も確認できた。それらを踏まえて、資料2の骨子案を確定したいがいかがか。特に追加のご意見がなければ、こちらの内容で確定としたい。

長峰委員 各章のタイトルだが、第5章は「考え方」とあるが、書かれている内容は基本方針。そうであれば、基本方針と謳っても良いのではないか。

事務局 強いこだわりを持って考え方と基本方針の使い分けをしている訳ではない。タイトルを基本方針に変えたい。

八幡委員長 他に骨子案についていかがか。

(特になし)

八幡委員長 それでは、第5章のタイトルについては再度ご検討いただくこととし、それ以外についての内容でご了承いただくということでよろしいか。

(異議なし)

八幡委員長 それでは資料3の素案の検討に進みたい。ご意見、ご質問があれば、お願いしたい。

長峰委員 第2章の中で地域資源を色々と列記されているが、グリーンホールが出ていない。調布国際音楽祭でもメインの会場として使われているのに、記載されていないことが気になった。第5章の取組の方向性のところ、情報発信の方法として紙媒体やデジタル媒体を問わない多様な手法等と書かれているが、タウン誌を明記しても良いのではないか。タウン誌は、駅等で見かけることも多く、シニア層は紙媒体で情報収集をしていることも多いため、そういった媒体にも触れておくと良いのではないか。P46の深大寺のコラムのところ、「深大寺を核としたイベントを開催し」の誤植だと思う。資料4のNo13について。前回の資料から内容が大きく変わってしまっているので、議論する必要はないと思うが、回答をみると、これまでの取組の結果として、集客・回遊・消費について「一定の成果を上げている」とある一方、基本方針2では回遊が「不十分」と書かれているので、整合が図られていないと思う。これまでやってきた事業のレベルがコロナ禍を理由に一時的に下がったものの、何とか維持して一定の成果を上げているが、これから更に充実させていく必要がある、そのための取組と

しては不十分ということではないか。そういう見方であれば納得できる。その認識をしっかりとって欲しい。

- 事務局 グリーンホールについては、地域資源の中に追加したい。タウン誌は紙媒体での情報発信には含まれるが、本文もしくはコラムのいずれかで触れるかどうかを検討したい。資料4のNo.13への対応については、素案の第2章の書きぶりを改めさせていただいた。コロナ禍でも地域経済の活性化に向けてできる限りのことに努めてきたが、努力してきた結果としてまだ足りていない部分があるという課題を受けての4章、5章にした。
- 長峰委員 資料4の質問については、これまで頑張ってきたが、それまでの成果以上のものを出していくためには、これからも頑張っていく必要があるという理解を共有できるのであれば良い。タウン誌については、事務局でご検討いただければと思う。シニアには、紙媒体の方が親しみやすい。デジタルと紙媒体の両方で進めていただけると良い。
- 大前委員 取組イメージを書いていたのは良い。P54の「(2) 調布駅前から盛り上げる会」の書きぶりについて、後ほどこうしていただきたいということをお伝えしたい。これに絡む画期的な事業である半券サービスについて、追記していただけるとありがたい。
- 事務局 表記については個別に検討したい。
- 戸嶋委員 P52「調布国領しごと情報広場」のところ。「職の紹介」ではなく「お仕事の紹介」に変えていただきたい。また、「子育てをしながら就職を目指す方」とあるが、マザーズコーナーは仕事と家庭の両立を目指す方へのご紹介としている。子育て世代だけだと非常に少ない。子育てが終わった方、介護でブランクのあった方等も対象としている。その部分を幅広く、「仕事と家庭の両立を目指す方をサポートするためのマザーズコーナーで、お子様も連れてきていただけます」というような表現にさせていただくと良い。子育てだけだと、未就学児がいる方しか紹介してもらえないと思われる。
- 事務局 関係機関等に関する表記については、個別に関係する方々に確認していただく予定であり、内容については、確認したものを追記したい。
- 鎌田副委員長 第5章の3つの基本方針は、第4章の課題を踏まえたものということか。P38で「1 商工業振興について」があり、P43で「基本方針1 産業の活性化に伴う地域経済力の向上」とあるが、取組の方向性1-1~1-3は、商工会や商店会の話ばかり。例えば、P38で「○工業及び製造業の課題解決に向けた取組」とあり、下の文章の中で「開業や事業拡大の環境がなくなっている工業や製造業への支援の取組も求められて」としながらも、取組の方向性には具体的な記載がない。そういう矛盾が散見される。どの課題に対応した取組なのかがわかるように書いていただいた方が良い。例えば、課題も○ではなく番号で示し、基本方針や取組の方向性でそ

の番号を示すとか。また、P39のPRだが、P47をみると魅力発信の話になっている。発信の話をするのであればPRという言葉を使うべきではなく、発信やプロモーションに変えた方がよい。PRはパブリックリレーションなので、発信することをPRと思っている方が多いが、それは間違い。P52の「取組の方向性3-4」で初めて「市内」という言葉が出てくる。「市内」とは何を意味しているのか。「市の関係部署」とすべきなのではないか。唐突感がある。また、「若者や働きたい女性をはじめとした」というのは、差別的な表現と誤解されかねない。この部分はいらないのではないか。繰り返しになるが、P38に課題が多く挙げられているのに、基本方針の3つが同じくらいになっていることに無理がある。また、P38では市内事業者なのに、基本方針以降は商店会や商店街に主語が置き換わっており、対象が狭められている印象がする。課題に映画の話が出ていないのに、取組の方向性で出てきたりもする。どの課題に、どの取組の方向性が対応しているのか、見ていてよくわからない。そういう誤解が生じないようにしていただきたい。

- 八幡委員長 一番の問題は、第4章の課題に対する第5章の基本方針以降のつながりがどうなっているということだと思うので、そこはまだ時間もあるので、検討していただければと思う。
- 事務局 少しお時間をいただいて検討したい。できれば、パブリック・コメント手続までに調整したい。
- 鎌田副委員長 照合して分かるように書いていただければ良い。全ての課題に対応する必要はない。課題を認識しているのであれば、調布市としてどう課題を踏まえて次のビジョンに反映しているのかが分かれば良い。
- 秋沢委員 市内の小規模事業者かつ商工会の役員として、このビジョンをもとにどのように具体的に動いていくのか。商工会の会員の皆様にしっかり伝えていきたい。2029年、調布市が人口減少局面に入るといわれる。今後は人口減少局面での産業振興が課題だと思う。人が減ることは、産業振興の面でもマイナスの影響を及ぼすと思う。そうなると、これだけの地域資源が調布市にはあるので、来街者にどうやってお金を落としてもらおうのかを今から考える必要がある。商工会だけではなく、観光協会等、様々な団体や組織と横串の連携をして、様々な取組をしていきたい。
- 高木委員 全体としてまとまっている。自分はベンチャー支援の授業を持っており、ベンチャーキャピタルや社長さんに来ていただき、資金調達や創業の話をしていただいている。最近、ブロックチェーンが流行っており、位置情報を取り、調布に来ると何かしらポイントを付ける等、何らかの観光と絡めて活用できると良いのではないかと思った。また、学生や大学の場所を有効活用していただくことも可能だと思う。東京都の「大学発スタートアップ創出支援事業」に電気通信大学が選ばれたこともあり、色々な大学を

呼んで、スタートアップに関するイベントをする企画も考えている。こうした機会をきっかけに、調布市とも一緒に何か連携できると良いと考えている。

武口委員 資料を見て思ったが、P6, P23, P35, P36 のグラフについては、数値が多い順に並べ替えた方が見やすいのではないかと思う。また、P48に「近藤勇をデザインしたマンホール蓋を設置する」とあるが、マンホールの写真が載っていない。P45には「ゲゲゲの鬼太郎」のマンホールの写真があるが、こちらは無い。可能なら掲載してもよいのではないかと思う。

事務局 「近藤勇をデザインしたマンホール」は新しい取組で、人気もある。スペースの問題もあるが、両方載せられるか検討したい。グラフについても、見やすさを重視して対応したい。

長峰委員 観光ボランティアとして感じたことだが、「回遊」が何度も出てくるが、実際に深大寺に来た人が次にどこかに行くかという、挙げるのがなかなか難しい。深大寺と植物公園はつながっているから良いが、それ以外で「回遊」と言ってもなかなかない。そう考えると、観光スポットを「回遊」することは、現実的には難しい。むしろ、どこかの観光スポットに行ったら、お茶を飲んでもらう、何かを食べてもらう、何かショッピングしてもらうという抱き合わせで進めていった方がよいのではないか。あまり観光地をつなぐ「回遊」にこだわらない方がよいと思う。また、調布は映画のまちと言われており、映画関連の企業はたくさんあるが、訪れることができる施設としては映画館くらいしか行く所がなく、撮影スタジオは、自由に見学できる訳ではない。街中の撮影スポットは、若い人向けが多いので、シニアの方は行かない。映画会社の協力が無いと難しいし、スペース確保の問題もあるが、調布駅の近くに映画ミュージアムのようなものがあれば良いと思う。映画のまちと謳っているのだから、それに相応しい訪れることができる何かがあると良い。

事務局 観光地をつなげるのは現実的には難しい。観光と消費をつなぐ方が現実的だし、そういった取組が必要だと思う。映画のまちといいながら施設がないのはご指摘のとおりであるが、新たな施設を作ることは難しい部分もあるため、今後もシネマフェスティバルなど、ソフト的な事業を中心とした対応になってくると思うが、貴重なご意見として承りたい。

戸嶋委員 P43の「取組の方向性 1-1」が埋もれてしまっているのだから、分かりやすいように表記してもらえると良い。

事務局 レイアウトは検討したい。完成版はカラーであり、もう少し見やすくなるように工夫したい。

八幡委員長 パブリック・コメント手続の後、私と事務局とで内容を調整させていただいた上で、最終的なものを皆さまに事前にご覧いただき、第5回の会議で最終的に確定させていきたい。そのような進め方で良いか。

(異議なし)

4 事務連絡

事務局から次回策定委員会の日程やパブリック・コメント手続等について、説明が行われた。次回の第5回会議は令和7年3月19日(水)午後3時開催となる。場所は市長公室。

5 閉会

鎌田副委員長 議事が全て終了したので、第4回調布市産業振興プラン策定検討委員会を閉会する。

以上